

## 国名勝「袋田の滝」を訪れて

原田 義則(3 組)

2月4日のちょっと寒さの緩んだ日に国名勝 袋田（ふくろだ）の滝を訪れました。

冬のこの時期になると毎年一度はTVで流れる「滝の凍結が始まりました」のニュースで有名な袋田の滝を一度は観て見たいと思いつつも行くのには結構大変な場所（福島県との県境に近い茨城県北部の山間部）にあるため、何十年もの間、躊躇っていたのですが、今年はそれなりに寒く、且つ降雨・降雪も無く路面凍結の虞が無さそうと言う事で、思い切って日帰りの旅に出掛けました。

袋田の滝までは埼玉の自宅（暑い事で有名な鳩山町）から200km弱、2/3は高速道路を使って往復6時間が掛かりましたが、中々楽しい小旅行でした。国指定の名勝と言う事で平日にも拘

わらず観光客（大多数は高齢者）もそれなりの数が訪れていました。古くは西行、徳川光圀（黄門様）も訪れたとの言い伝えも。

袋田の滝は、久慈川支流の滝川上流に位置しており、岩肌を4段渡って流れ落ちていて(写真)、長さは合計120メートル、幅は最大で73メートル。紅葉の季節も良いのだそうですが、冬には滝が凍結する「氷瀑」現象が発生することことで有名。この氷壁を登る人もいます（入場券にはその写真が使われている）。この滝は日本の名勝に指定されていて華厳滝、那智滝とともに日本三大名瀑の一つに挙げられる場合もあり、日本の滝百選にも選定されているとのこと。以前に行われた日本の滝百選の人気投票では1位を取ったこともあると言う人気の滝らしい。

その人気の元である全面凍結もかつては毎年のように見られたが、近年では2012年が最後だったそうで、先週は8割程度の凍結（写真）で氷瀑の間に幾筋かの流れが見えていました（尚、全面凍結と言っても水の流れが止まる訳ではなく「表面のみの凍結」で氷の下には水が流れ続けている）。

中々風情のある滝です。時間に余裕のある方は寒さが緩む前に訪れて見るのも良いかなと思います。

2026年2月8日記

